

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年11月8日

【四半期会計期間】 第14期第2四半期(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

【会社名】 株式会社エスクリ

【英訳名】 E S C R I T I N C .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼最高執行責任者 渋谷 守浩

【本店の所在の場所】 東京都港区西新橋二丁目14番1号 興和西新橋ビルB棟

【電話番号】 03-3539-7654

【事務連絡者氏名】 取締役上級執行役員管理本部長 高梨 宏史

【最寄りの連絡場所】 東京都港区西新橋二丁目14番1号 興和西新橋ビルB棟

【電話番号】 03-3539-7654

【事務連絡者氏名】 取締役上級執行役員管理本部長 高梨 宏史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第13期 第2四半期 連結累計期間 | 第14期 第2四半期 連結累計期間 | 第13期 |
|--|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日 | 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 11,144,177 | 13,049,007 | 26,226,748 |
| 経常利益又は経常損失() | (千円) | 502,628 | 451,115 | 787,389 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失() | (千円) | 354,631 | 409,623 | 359,802 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 355,843 | 410,566 | 357,376 |
| 純資産額 | (千円) | 4,708,832 | 4,898,686 | 5,350,670 |
| 総資産額 | (千円) | 23,609,681 | 26,263,354 | 24,652,830 |
| 1株当たり当期純利益金額又は 四半期純損失金額() | (円) | 29.97 | 34.42 | 30.39 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | - | - | 30.10 |
| 自己資本比率 | (%) | 19.9 | 18.6 | 21.6 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 185,356 | 1,109,894 | 1,340,708 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 942,278 | 385,527 | 3,270,998 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 2,156,427 | 1,393,758 | 1,276,115 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 | (千円) | 5,652,877 | 6,067,533 | 3,956,940 |

| 回次 | | 第13期 第2四半期 連結会計期間 | 第14期 第2四半期 連結会計期間 |
|----------------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日 | 自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日 |
| 1株当たり四半期純損失金額 () | (円) | 17.61 | 15.86 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴施設を運営する当社の他、地方などの新たな地域でブライダル事業を運営する当社100%子会社である株式会社エスクリマネジメントパートナーズ(以下、エスクリマネジメントパートナーズ)、並びにグループ内における挙式・披露宴施設等の内装工事を請け負う株式会社渋谷(以下、渋谷)を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当第2四半期においては、主要広告媒体との連携強化や、新たな各種イベント施策により反響・来館数が向上したことに加え、スタッフのきめ細やかな接客による成約率向上及びキャンセル率低減の傾向にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,049百万円(前年同四半期比17.1%増)、営業損失364百万円(前年同四半期は455百万円の損失)、経常損失451百万円(前年同四半期は502百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失409百万円(前年同四半期は354百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を見直し、「ブライダル事業」を「ブライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

このため、前年同期との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

(ブライダル関連事業)

前連結会計年度に開業した直営の挙式・披露宴施設4屋号(7バンケット)及び地方展開するエスクリマネジメントパートナーズの9屋号(14バンケット)の業績貢献に加えて、他社とタイアップしたキャンペーン、ブライダルフェアを実施したことで来館数が増加したことや、採用強化と全社的な研修の実施により人的リソース不足がほぼ回復したことで成約率が向上し、ブライダル関連事業の売上高は11,540百万円(前年同四半期比29.5%増)となり、セグメント利益は291百万円(同2,664.4%増)となりました。

(建築不動産関連事業)

渋谷における大型工事の受注や、個人住宅等の建築工事が順調に推移しているものの、一部工事の完成の期ずれ等により、建築不動産関連事業の売上高は1,229百万円(前年同四半期比40.7%減)、セグメント利益は33百万円(同80.7%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ2,110百万円増加し、6,067百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,109百万円（前年同四半期は185百万円の支出）となりました。その主な内訳は税金等調整前四半期純損失544百万円、前受金の増加額841百万円、売上債権の減少額363百万円、仕入債務の減少額495百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は385百万円（前年同四半期は942百万円の支出）となりました。その主な内訳は有形固定資産の取得による支出354百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は1,393百万円（前年同四半期は2,156百万円の収入）となりました。その主な内訳は長期借入れによる収入2,400百万円、社債の発行による収入600百万円、長期借入金の返済による支出1,829百万円があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 施行、受注及び販売の実績

施行実績

当第2四半期連結累計期間の挙式・披露宴施行件数の実績は、次のとおりであります。

| 区分 | 施行件数（組） | 前年同四半期比（％） |
|-----------|---------|------------|
| ブライダル関連事業 | 3,545 | 138.0 |

受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注件数および残高の状況は、次のとおりであります。

| 区分 | 受注件数(組) | 前年同四半期比(%) | 受注件数残高(組) | 前年同四半期比(%) |
|-----------|---------|------------|-----------|------------|
| ブライダル関連事業 | 4,886 | 117.9 | 4,801 | 125.8 |

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 45,648,000 |
| 計 | 45,648,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成28年11月8日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 11,912,700 | 11,912,700 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 完全議決権株式であり、 株主としての権利内容に 何ら限定のない当社にお ける標準となる株式であ ります。また、1単元の 株式数は100株となっ ております。 |
| 計 | 11,912,700 | 11,912,700 | | |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成28年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成28年7月1日～ 平成28年9月30日 | 6,000 | 11,912,700 | 968 | 591,468 | 968 | 549,468 |

(注) 新株予約権(ストックオプション)の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---|---|--------------|------------------------------------|
| 有限会社ブロックス | 東京都中央区銀座5丁目6-12 | 3,050,000 | 25.60 |
| 岩本 博 | 神奈川県川崎市中原区 | 1,015,500 | 8.52 |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (ゴールドマン・サックス証券株式会社) | イギリス・ロンドン (東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー) | 646,832 | 5.42 |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD ACISG (FE-AC) (株式会社三菱東京UFJ銀行) | イギリス・ロンドン (東京都千代田区丸の内2丁目7-1) | 470,768 | 3.95 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海1丁目8-11 | 467,800 | 3.92 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW (株式会社みずほ銀行決済営業部) | イギリス・ロンドン (東京都港区港南2丁目15-1 品川 インターシティA棟) | 190,504 | 1.59 |
| 合同会社調整 | 奈良県生駒市菜畑町2313-451 | 184,000 | 1.54 |
| 上田八木短資株式会社 | 大阪府大阪市中央区高麗橋2丁目4-2 | 180,400 | 1.51 |
| 岩本 眞弓 | 神奈川県川崎市中原区 | 180,000 | 1.51 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町2丁目11番3号 | 178,500 | 1.49 |
| 計 | - | 6,564,304 | 55.10 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 600 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 11,910,000 | 119,100 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,100 | | |
| 発行済株式総数 | 11,912,700 | | |
| 総株主の議決権 | | 119,100 | |

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------|----------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| 株式会社エスクリ | 港区西新橋二丁目14番1号 興和西新橋ビルB棟 | 600 | | 600 | 0.01 |
| 計 | | 600 | | 600 | 0.01 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,223,537 | 6,334,355 |
| 受取手形及び売掛金 | 567,948 | 431,243 |
| 完成工事未収入金 | 282,862 | 43,577 |
| 販売用不動産 | 289,890 | 472,119 |
| 商品及び製品 | 107,855 | 68,364 |
| 原材料及び貯蔵品 | 106,091 | 115,950 |
| 未成工事支出金 | 101,023 | 254,873 |
| その他 | 739,715 | 810,220 |
| 貸倒引当金 | 9,637 | 18,059 |
| 流動資産合計 | 6,409,287 | 8,512,645 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 10,993,140 | 10,573,161 |
| その他 | 2,667,492 | 2,551,174 |
| 有形固定資産合計 | 13,660,633 | 13,124,335 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 245,872 | 209,636 |
| その他 | 243,596 | 221,035 |
| 無形固定資産合計 | 489,469 | 430,672 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,241,880 | 3,242,073 |
| その他 | 870,416 | 984,257 |
| 貸倒引当金 | 18,855 | 30,630 |
| 投資その他の資産合計 | 4,093,440 | 4,195,700 |
| 固定資産合計 | 18,243,543 | 17,750,708 |
| 資産合計 | 24,652,830 | 26,263,354 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,614,937 | 1,273,250 |
| 短期借入金 | | 330,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,740,871 | 2,982,607 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 70,000 |
| 未払金 | 1,035,045 | 965,006 |
| 前受金 | 1,185,924 | 2,027,075 |
| その他 | 1,475,024 | 1,643,789 |
| 流動負債合計 | 8,061,803 | 9,291,728 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,438,721 | 8,767,346 |
| 社債 | 5,000 | 540,000 |
| 資産除去債務 | 1,894,651 | 1,886,293 |
| その他 | 901,983 | 879,300 |
| 固定負債合計 | 11,240,355 | 12,072,939 |
| 負債合計 | 19,302,159 | 21,364,668 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 584,979 | 591,468 |
| 資本剰余金 | 542,979 | 549,468 |
| 利益剰余金 | 4,200,947 | 3,737,929 |
| 自己株式 | 187 | 187 |
| 株主資本合計 | 5,328,719 | 4,878,679 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 762 | 179 |
| その他の包括利益累計額合計 | 762 | 179 |
| 新株予約権 | 21,188 | 20,186 |
| 純資産合計 | 5,350,670 | 4,898,686 |
| 負債純資産合計 | 24,652,830 | 26,263,354 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

| | (単位：千円) | |
|---------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
| 売上高 | 11,144,177 | 13,049,007 |
| 売上原価 | 4,925,949 | 5,613,670 |
| 売上総利益 | 6,218,228 | 7,435,337 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 6,674,134 | 1 7,799,534 |
| 営業損失() | 455,906 | 364,197 |
| 営業外収益 | | |
| 受取賃貸料 | 2,004 | 1,994 |
| 為替差益 | 10,734 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 5,057 | |
| 解約返戻金 | | 3,200 |
| その他 | 4,371 | 6,918 |
| 営業外収益合計 | 22,168 | 12,112 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 53,091 | 62,897 |
| その他 | 15,798 | 36,133 |
| 営業外費用合計 | 68,890 | 99,030 |
| 経常損失() | 502,628 | 451,115 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | 17,364 | |
| 新株予約権戻入益 | | 3,613 |
| 特別利益合計 | 17,364 | 3,613 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 2 | 2 87,751 |
| その他 | | 8,820 |
| 特別損失合計 | | 96,571 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 485,264 | 544,073 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 69,690 | 25,624 |
| 法人税等調整額 | 200,323 | 160,074 |
| 法人税等合計 | 130,632 | 134,450 |
| 四半期純損失() | 354,631 | 409,623 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失() | 354,631 | 409,623 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失() | 354,631 | 409,623 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,211 | 942 |
| その他の包括利益合計 | 1,211 | 942 |
| 四半期包括利益 | 355,843 | 410,566 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 355,843 | 410,566 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 485,264 | 544,073 |
| 減価償却費 | 604,503 | 740,564 |
| のれん償却額 | 35,272 | 36,236 |
| 減損損失 | | 87,751 |
| 負ののれん発生益 | 17,364 | |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 4,908 | 20,197 |
| 解約返戻金 | | 3,200 |
| 新株予約権戻入益 | | 3,613 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,660 | 1,766 |
| 支払利息 | 53,091 | 62,897 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 177,786 | 363,965 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 7,280 | 152,597 |
| 未成工事支出金等の増減額(は増加) | 15,715 | 153,850 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 48,056 | 495,541 |
| 前受金の増減額(は減少) | 619,918 | 841,150 |
| 未成工事受入金の増減額(は減少) | 74,019 | 126,519 |
| 未払金の増減額(は減少) | 58,299 | 44,232 |
| その他 | 138,418 | 221,824 |
| 小計 | 432,050 | 1,190,695 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,465 | 1,766 |
| 利息の支払額 | 52,248 | 63,403 |
| 法人税等の支払額又は還付額(は支払) | 566,623 | 19,165 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 185,356 | 1,109,894 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 14,423 | 13,425 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,200 | 13,200 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 790,350 | 354,058 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 21,481 | 19,561 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 131,769 | |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 239,912 | 5,536 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 5,923 | 1,949 |
| その他 | 15,004 | 8,095 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 942,278 | 385,527 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 433,336 | 330,000 |
| 長期借入れによる収入 | 3,400,000 | 2,400,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 1,560,466 | 1,829,639 |
| 社債の発行による収入 | | 600,000 |
| 社債の償還による支出 | 20,000 | 5,000 |
| 配当金の支払額 | 65,016 | 53,378 |
| その他 | 31,425 | 48,223 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,156,427 | 1,393,758 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 10,734 | 7,532 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,039,527 | 2,110,592 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,613,350 | 3,956,940 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,652,877 | 6,067,533 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社グループは、運転資金等の柔軟な調達を行うため、金融機関と当座貸越契約及びコミットメントライン契約等を締結しておりますが、当該契約には一定の財務制限条項が付されております。

これらの契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|-------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 当座貸越極度額及び コミットメントライン契約等の総額 | 3,050,000千円 | 3,750,000千円 |
| 借入実行残高 | 1,000,000千円 | 1,600,000千円 |
| 差引額 | 2,050,000千円 | 2,150,000千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-------|---|---|
| 地代家賃 | 1,566,378千円 | 1,737,930千円 |
| 給料手当 | 1,264,800千円 | 1,512,793千円 |
| 広告宣伝費 | 1,308,750千円 | 1,639,858千円 |

2 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位：千円)

| 場 所 | 用 途 | 種 類 | 金 額 |
|--------------------------------------|--------|------------|--------|
| ラグナスイートホテル& ウェディング新横浜 (横浜市港北区) | 除却予定資産 | 建物・建物付属設備他 | 20,699 |
| プリマカーラ福岡店 (福岡市中央区) | 除却予定資産 | 建物・建物付属設備他 | 27,892 |
| ラグナヴェール PREMIER (大阪市北区) | 除却予定資産 | 建物・建物付属設備他 | 30,406 |
| その他 | 除却予定資産 | 建物・建物付属設備他 | 8,753 |

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として事業拠点毎に資産のグルーピングを行っております。処分予定資産、撤退の意思決定を行った資産グループ及び営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は次のとおりであります。

| | |
|-----------|----------|
| 建物及び構築物 | 78,403千円 |
| 有形固定資産その他 | 8,029千円 |
| 無形固定資産その他 | 1,318千円 |
| 合計 | 87,751千円 |

資産グループの回収可能価額については使用価値により算定しており、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、回収可能価額をゼロとして評価しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金 | 5,911,054千円 | 6,334,355千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 258,177千円 | 266,822千円 |
| 現金及び現金同等物 | 5,652,877千円 | 6,067,533千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年5月12日 取締役会 | 普通株式 | 65,014 | 5.50 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月10日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成27年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 88,784 | 7.50 | 平成27年9月30日 | 平成27年12月14日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成28年5月13日 取締役会 | 普通株式 | 53,395 | 4.50 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月7日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成28年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 71,472 | 6.00 | 平成28年9月30日 | 平成28年12月12日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | プライダル 関連 | 建築不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,911,771 | 2,074,419 | 10,986,191 | 157,986 | 11,144,177 | | 11,144,177 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 264 | 384,500 | 384,764 | 9,987 | 394,751 | 394,751 | |
| 計 | 8,912,035 | 2,458,919 | 11,370,955 | 167,973 | 11,538,929 | 394,751 | 11,144,177 |
| セグメント利益 | 10,537 | 172,296 | 182,833 | 22,585 | 160,247 | 616,153 | 455,906 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 616,153千円には、セグメント間の未実現利益の調整額 10,499千円、のれん償却額 35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 570,381千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | プライダル 関連 | 建築不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,540,582 | 1,229,466 | 12,770,048 | 278,959 | 13,049,007 | | 13,049,007 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 185 | 167,425 | 167,610 | 18,934 | 186,545 | 186,545 | |
| 計 | 11,540,767 | 1,396,891 | 12,937,659 | 297,894 | 13,235,553 | 186,545 | 13,049,007 |
| セグメント利益 | 291,296 | 33,237 | 324,534 | 31,755 | 292,778 | 656,975 | 364,197 |

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 656,975千円には、セグメント間の未実現利益の調整額8,098千円、のれん償却額 35,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 629,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、プライダル関連セグメントにおいて87,751千円の減損損失を計上しました。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「プライダル事業」を「プライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を

含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称及び区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額 | 29円97銭 | 34円42銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失金額 (千円) | 354,631 | 409,623 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額(千円) | 354,631 | 409,623 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 11,831,335 | 11,902,469 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額の算定に含め な かった潜在株式で、前連結会計年度末から重 要な変動があったものの概要 | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第14期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）中間配当について、平成28年11月8日開催の取締役会において、平成28年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|-------------|
| 配当金の総額 | 71,472千円 |
| 1株当たりの金額 | 6円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成28年12月12日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月7日

株式会社エスクリ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉 村 孝 郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 橋 篤 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスクリの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスクリ及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。